

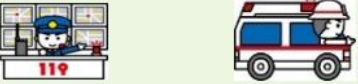
救急業務のDX推進に係る 消防本部担当者向け技術カタログ

消防庁 救急企画室

令和7年3月



本技術カタログの位置付け

フェーズ	Ⅰ. 119入電～出動～現場到着 	Ⅱ. 傷病者接触～車内収容～搬送先選定 	Ⅲ. 現場出発 ～ 病院収容 (医師引継) 	Ⅳ. 帰署 ～ 事務処理 
DX化 新機能	①救急需要予測 ②救急隊(車)最適配置 (AI、ビッグデータ) ③映像通報	④医療機関とのデータ・画像共有(12誘導心電図等、バイタル伝送等) ⑤観察内容等の自動記録 ⑥バイタルサインや画像の分析による 傷病判定補助 ⑦医療機関の空き情報把握・収容依頼	⑧収集した情報を引継 書へ自動反映 ⑨電子サイン	⑩活動記録票への 自動反映 ⑪活動記録票や予後 入力等による事後検 証支援 ⑫救急車の資材在庫 管理 ⑬救急隊員の労務負 担の把握

本技術カタログは、下記のいずれか又は複数の機能を有し、救急業務の効率化・円滑化に資するシステムの公募を行い、取りまとめたものである。本技術カタログの利用条件等は「救急業務のDX推進に係る消防本部担当者向け技術カタログ利用規約」に規定しているので、当該利用規約に基づき利用すること。URL:_____

システム名：救急車両向け映像伝送システム E g C a s t e r

フェーズ：ⅡⅢ／機能：④医療機関とのデータ・画像共有（12誘導心電図等、バイタル伝送等）

・システムの概要

救急車両と医療機関を繋ぐ、カメラ映像及びバイタルデータ等の映像伝送システム。



・訴求ポイント

スマホ、タブレットなどの活用により、傷病者のバイタルサイン、12誘導心電図、外傷等の身体所見など現場状況を救急隊と医療機関がリアルタイムで情報共有する事が出来る。

・導入効果

搬送先医療機関が早期に傷病者の身体所見を確認できる事により、医師の具体的判断、受入れ準備、治療の準備が進められ、治療までの時間が短縮されることで、救命率の向上、傷病者の良好な予後に効果が期待される。

・導入実績

全国の消防本部及び医療機関 約20施設

・費用の目安

救急車 1 台から医療機関及び消防本部への映像伝送で、初期150万円～200万円

・システムの紹介W e b サイト

<https://www.enwa.tv/egcaster/>

【問い合わせ先】

ENWA株式会社 <https://www.enwa.tv>
TEL : 06-4390-3522 E-Mail : info@enwa.tv